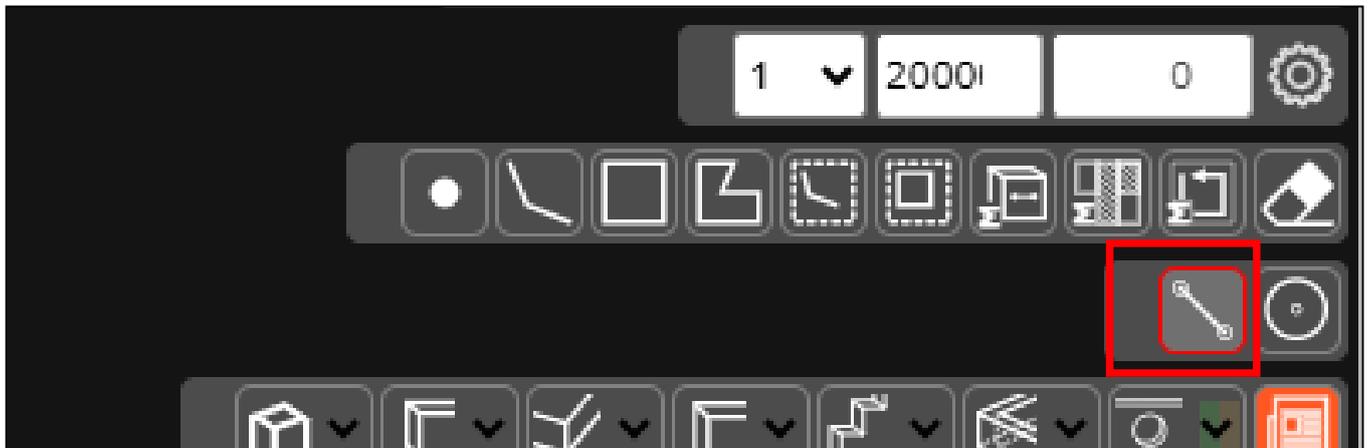


## ⑧ R 壁の作成（面積・長さ算出）



- 1) R 壁を作成するには 壁 で作成します。 補助線で基準を作ってから作成してみます。  
直線の補助線をクリックします。  
※図面上に中心点などしっかりと補助線がある場合スキップし P3 ~



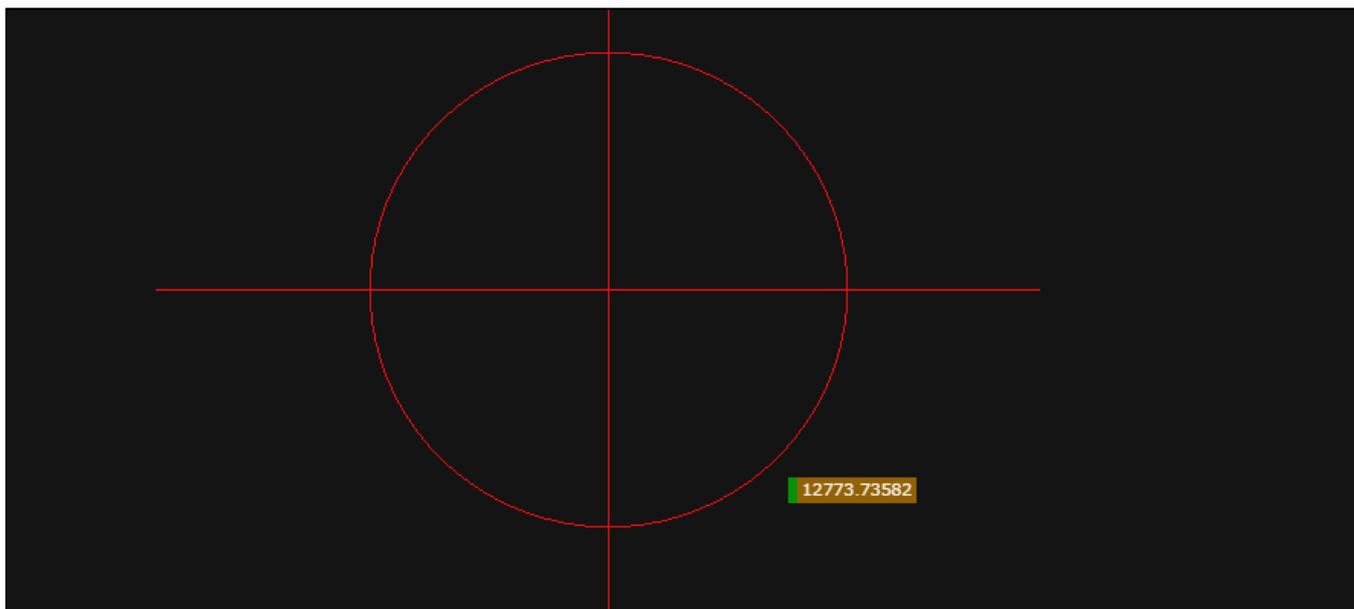
- 2) 直線をクロスして書きます。  
(補助線ですので、後で消せます。※消しゴム選択→消したい線をクリック)



3) 円のアイコンをクリックします。



4) 中心からマウスを引くと円ができます。

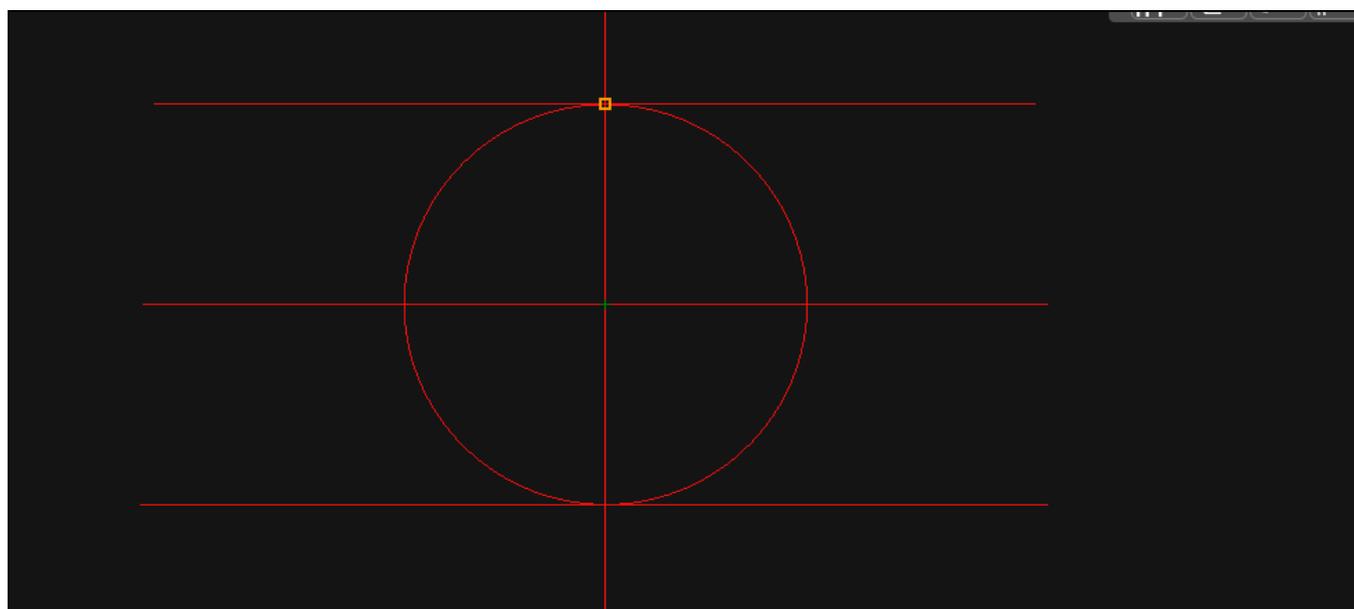


5) 念のため、円の上下にも直線の補助線を引いておきます。

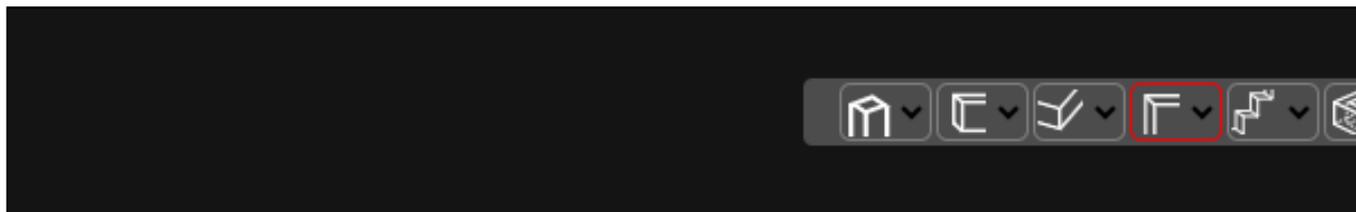


線のアイコンをクリック

します。



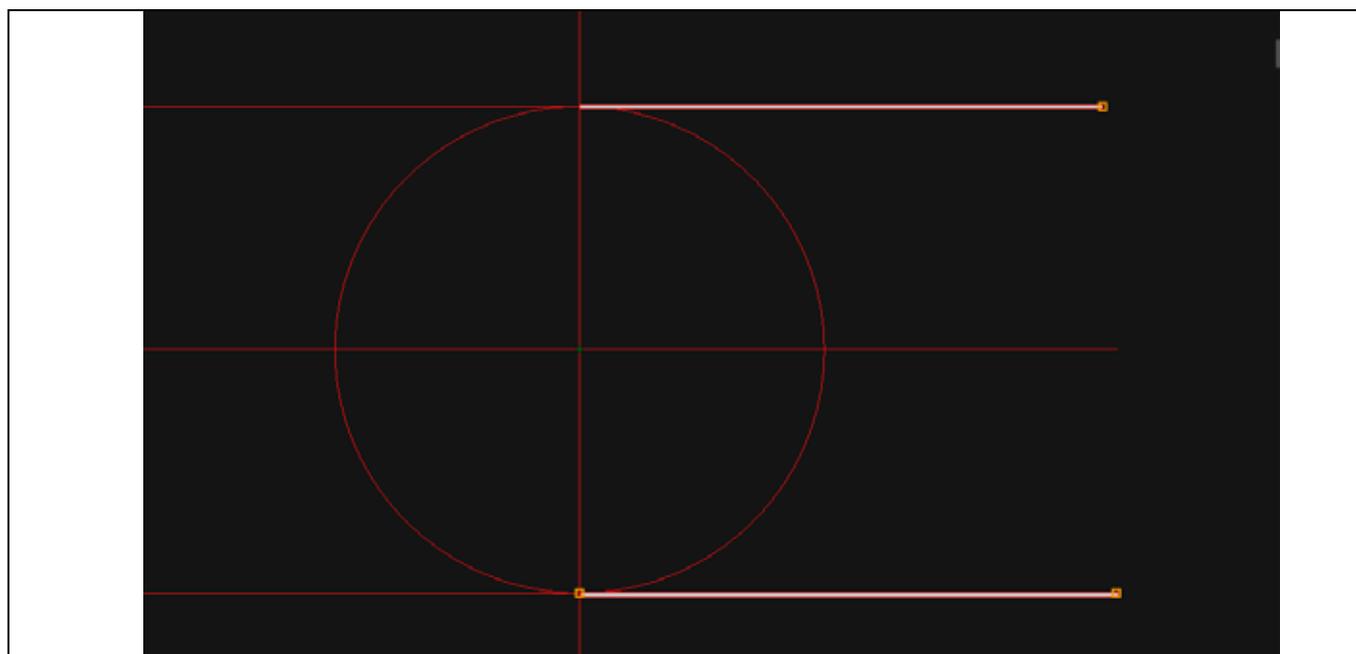
6) 壁を クリックします。



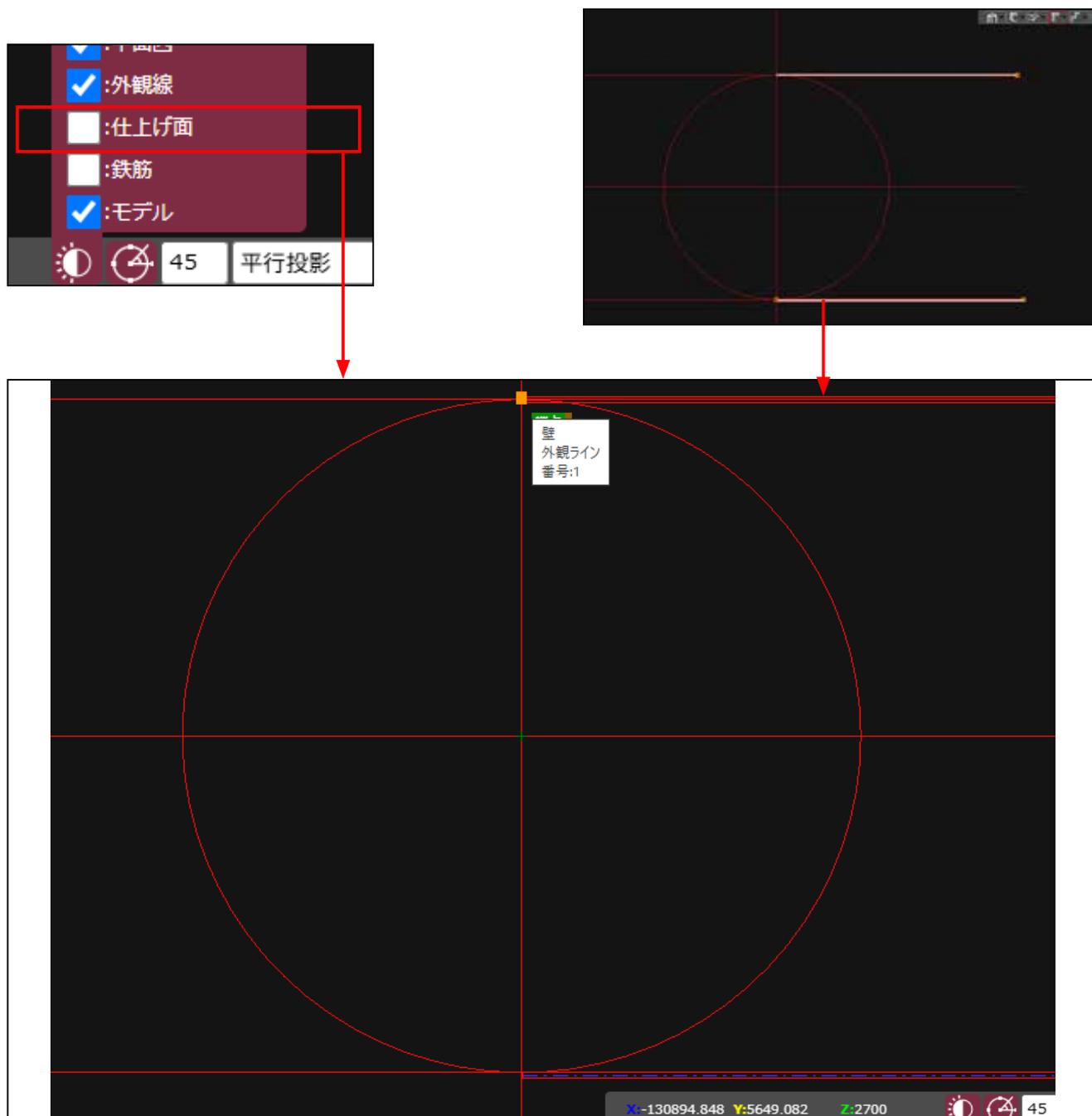
7) 半円 から直線の 壁を引きます。  
(壁の作り方は「①壁の作り方」マニュアルをご覧ください)



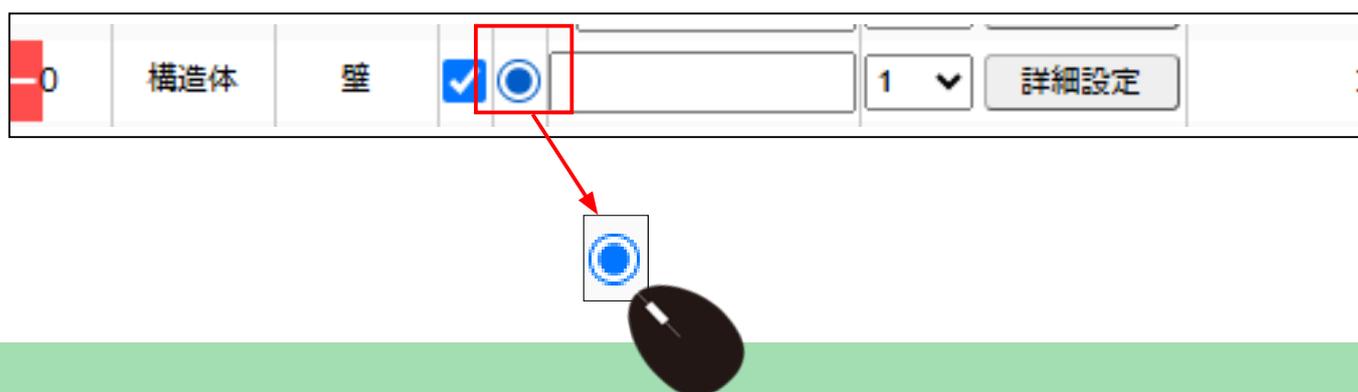
8) 直線の壁を作りました。



9) 下部にある、仕上げ面のチェックを外します。



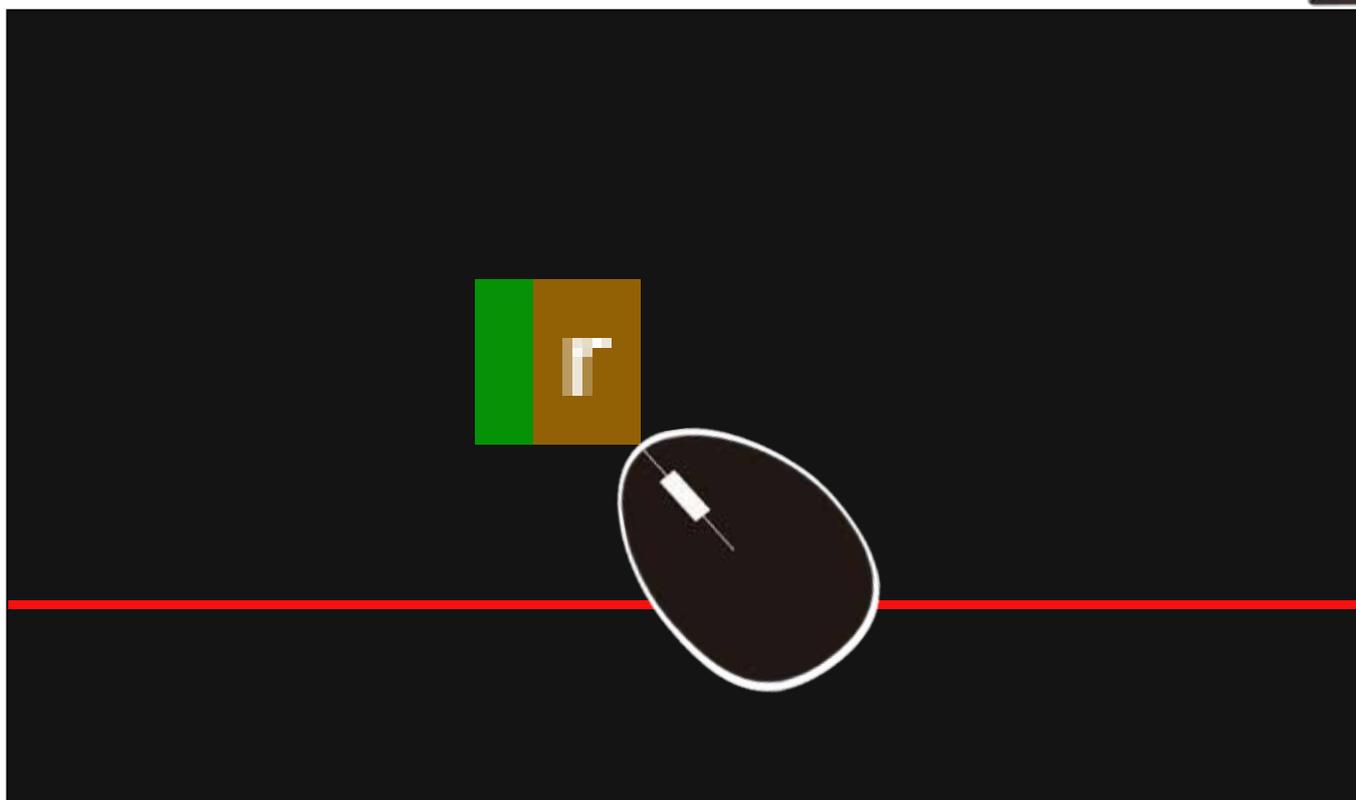
10) 右の表に壁が作成されていますので、○部分にチェックを入れます。



1 1) R の壁を入力します。 壁が選択されていることを確認します。



マウスが図面上にある状態で、キーを直接入力します。 r アールと入力し Enter を押します。

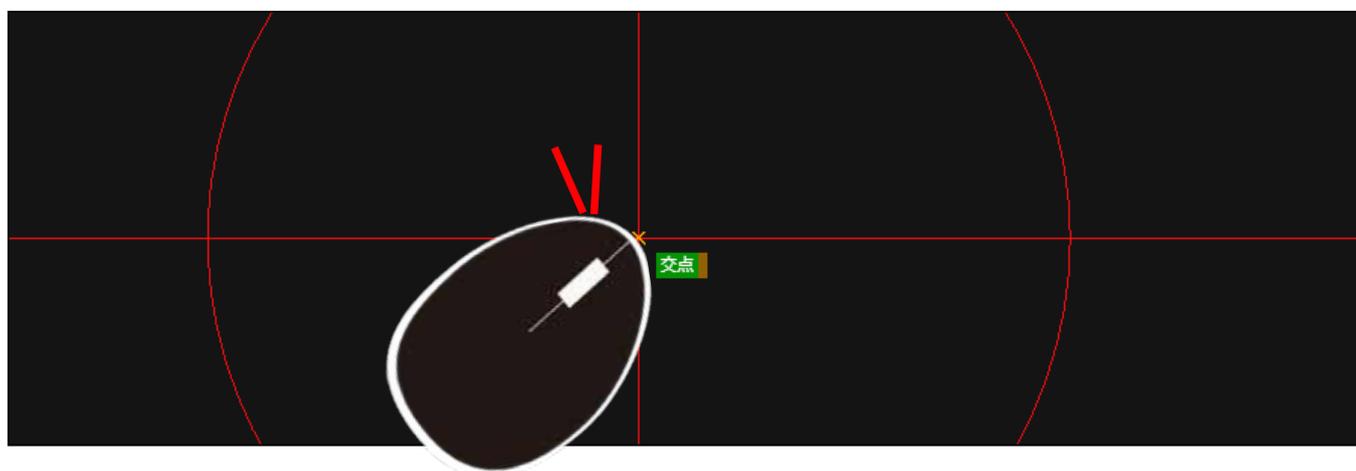


1 2) r が、消えますが、 R 壁を入力できます。

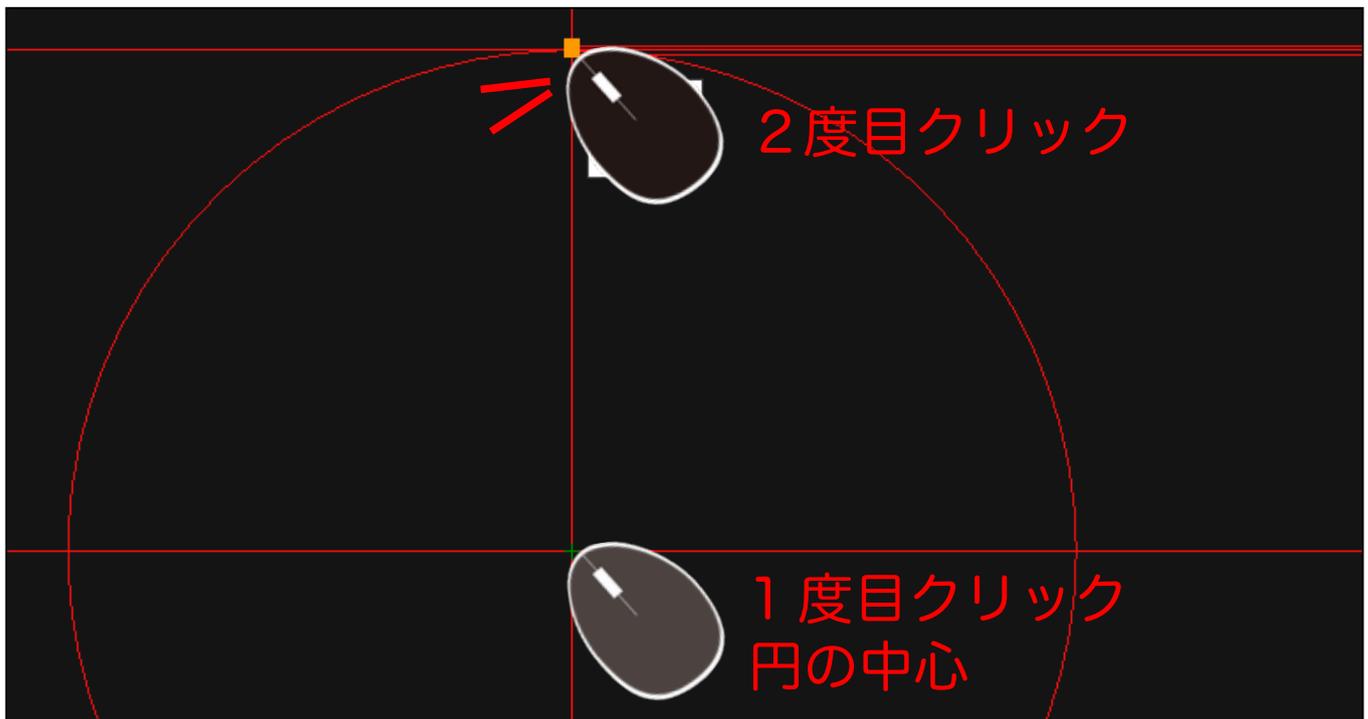


r が一旦消えるが R 壁が引ける

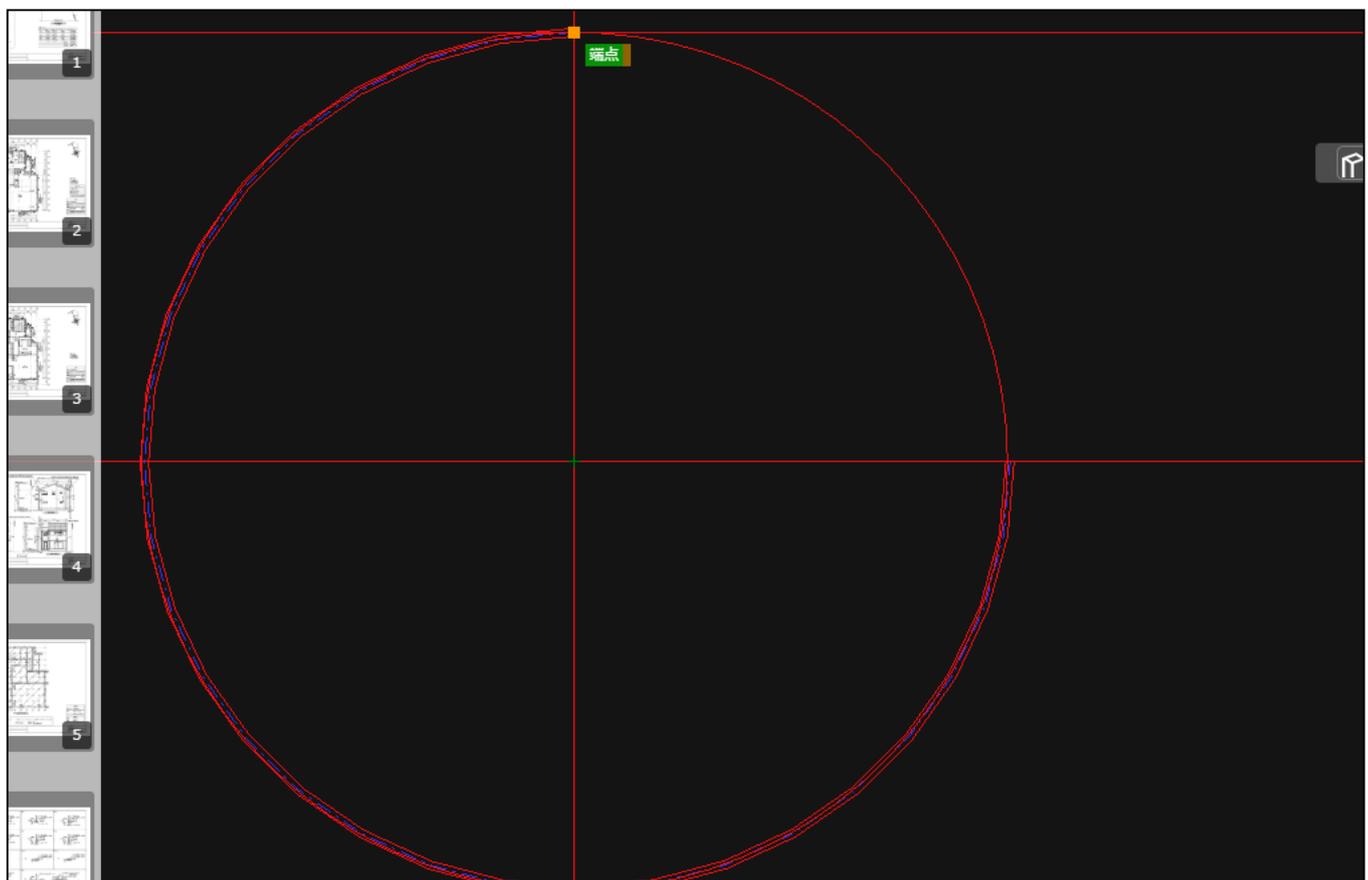
書きたい円の中心でマウスをクリックします。



1 3) 半径箇所までマウスを移動し、再度クリックします。

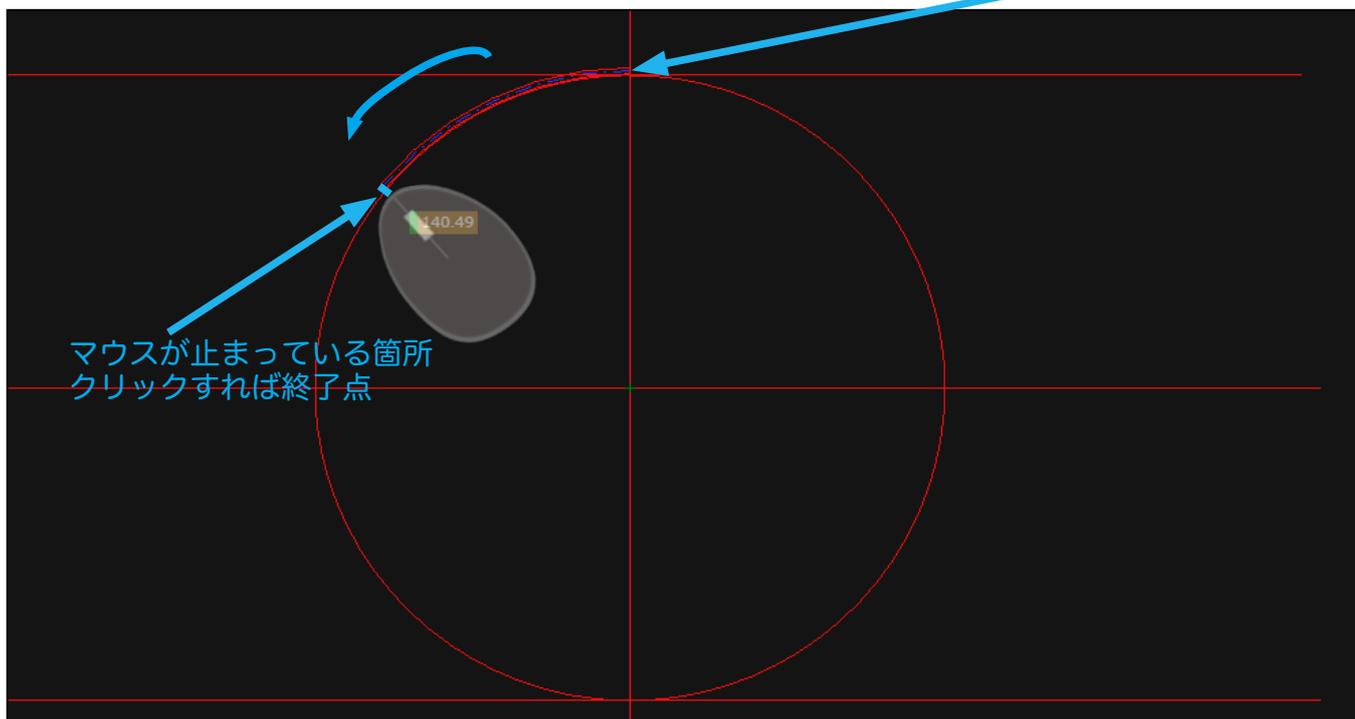


1 4) 一旦、円が表示されます。

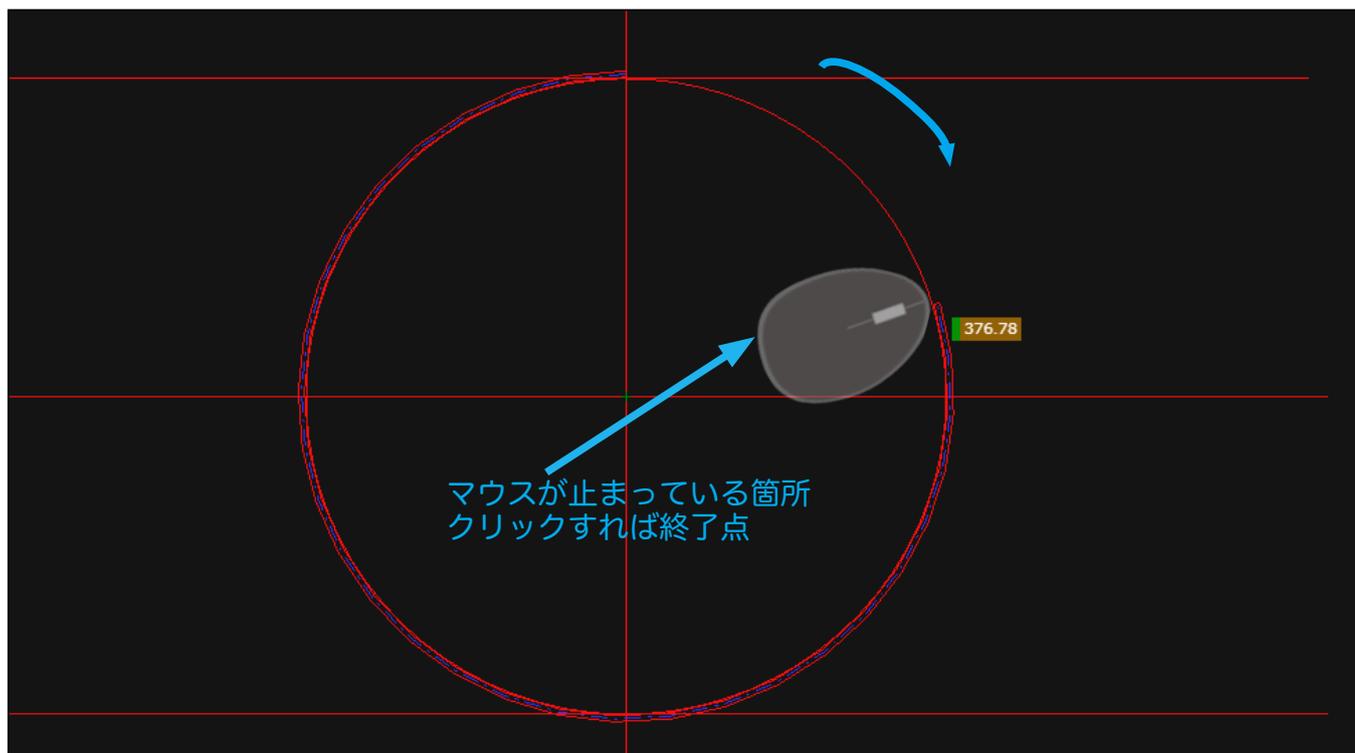


1 3) 左へマウスを動かします。左半分の円ができます。

開始点

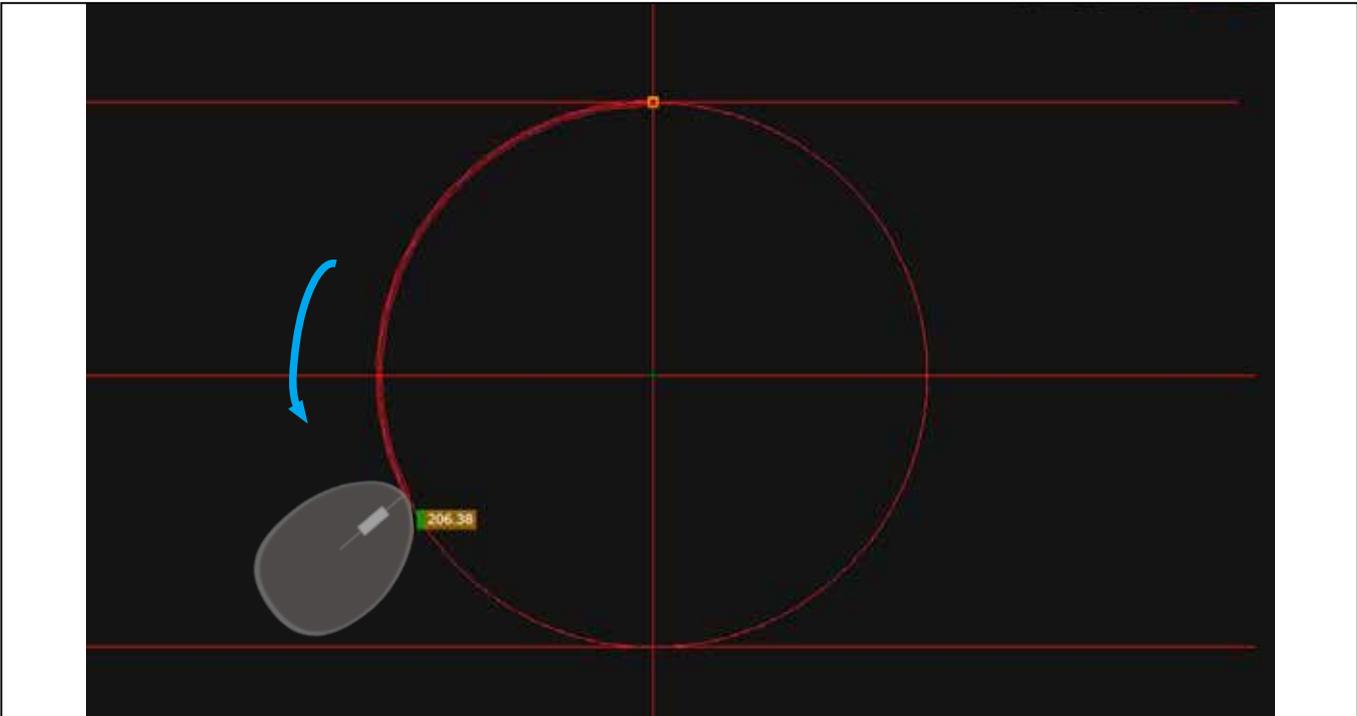


1 4) 右へマウスを動かしても、反時計回りに円が作られます。

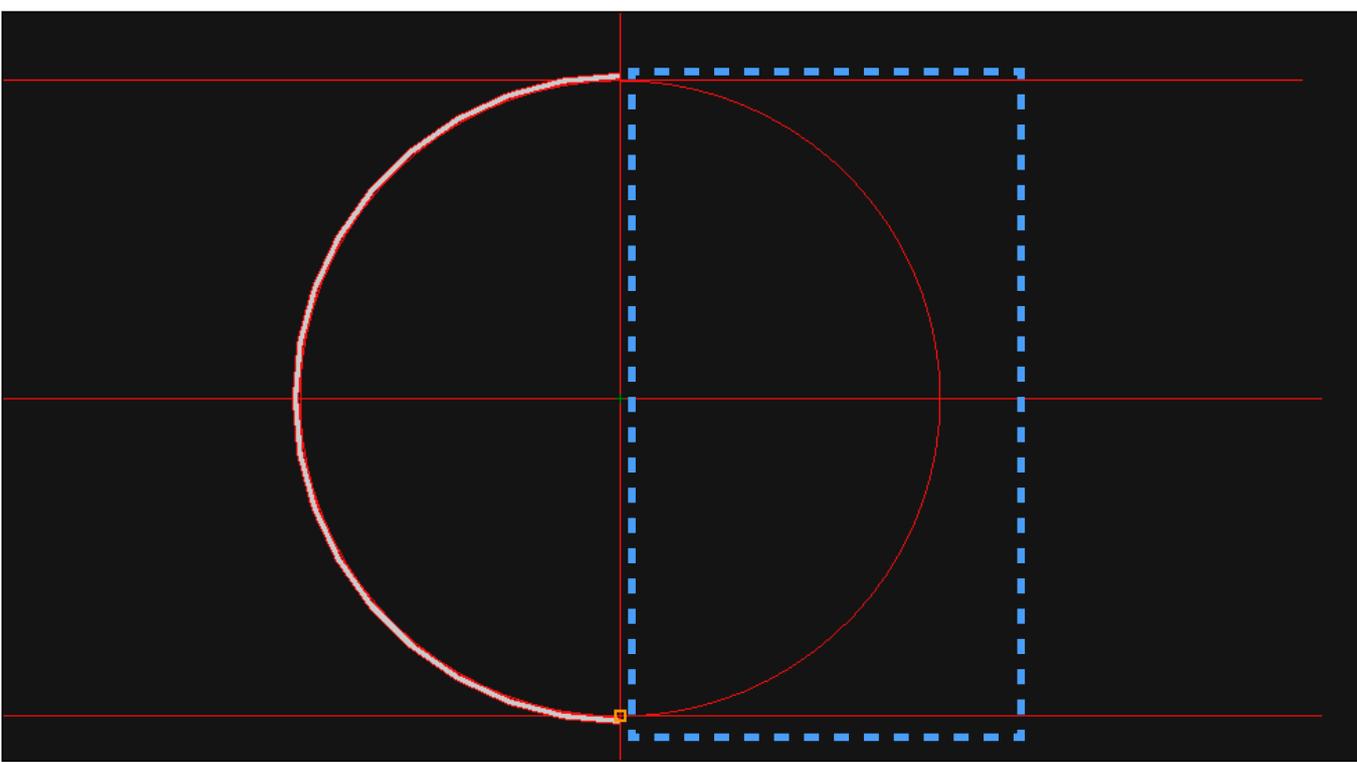




15) 円を書きたい箇所までマウスを動かし目的の箇所をクリックし Enter を押します。

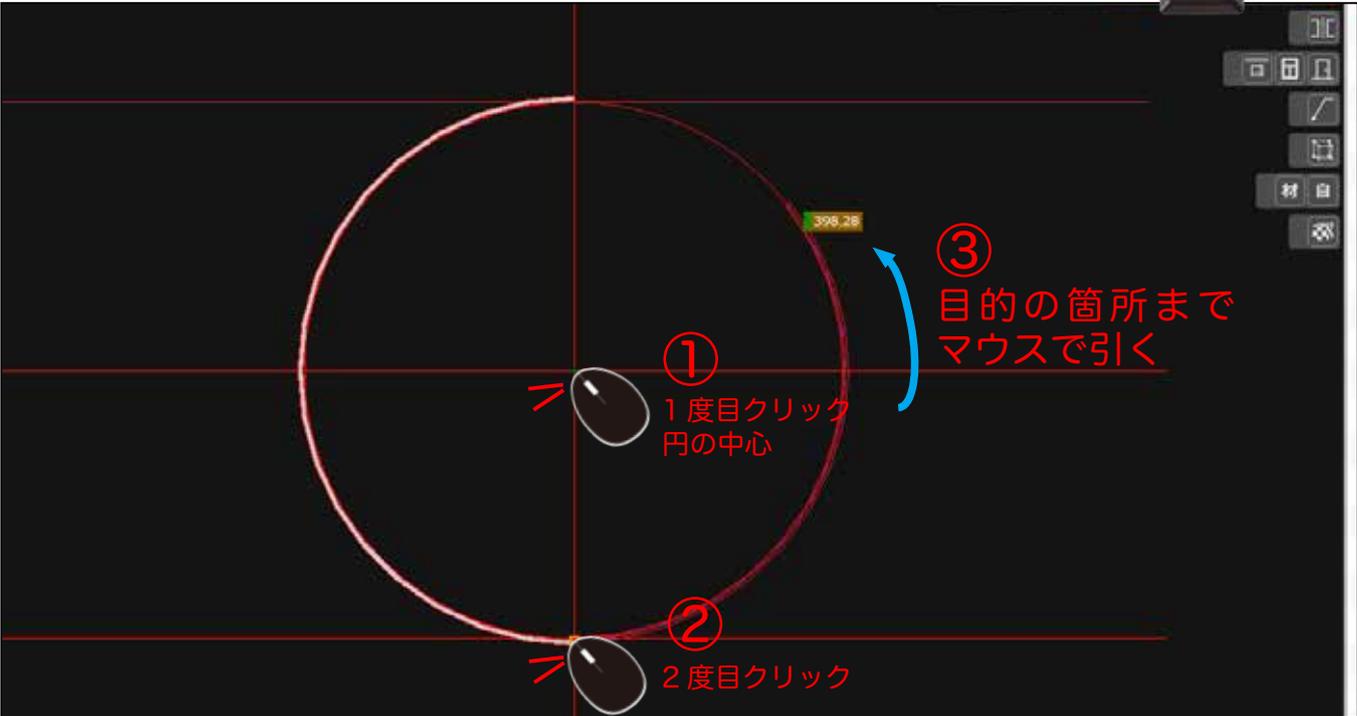


16) クリックした箇所で円が作成されます。残り部分の  反対側を作成してみます。

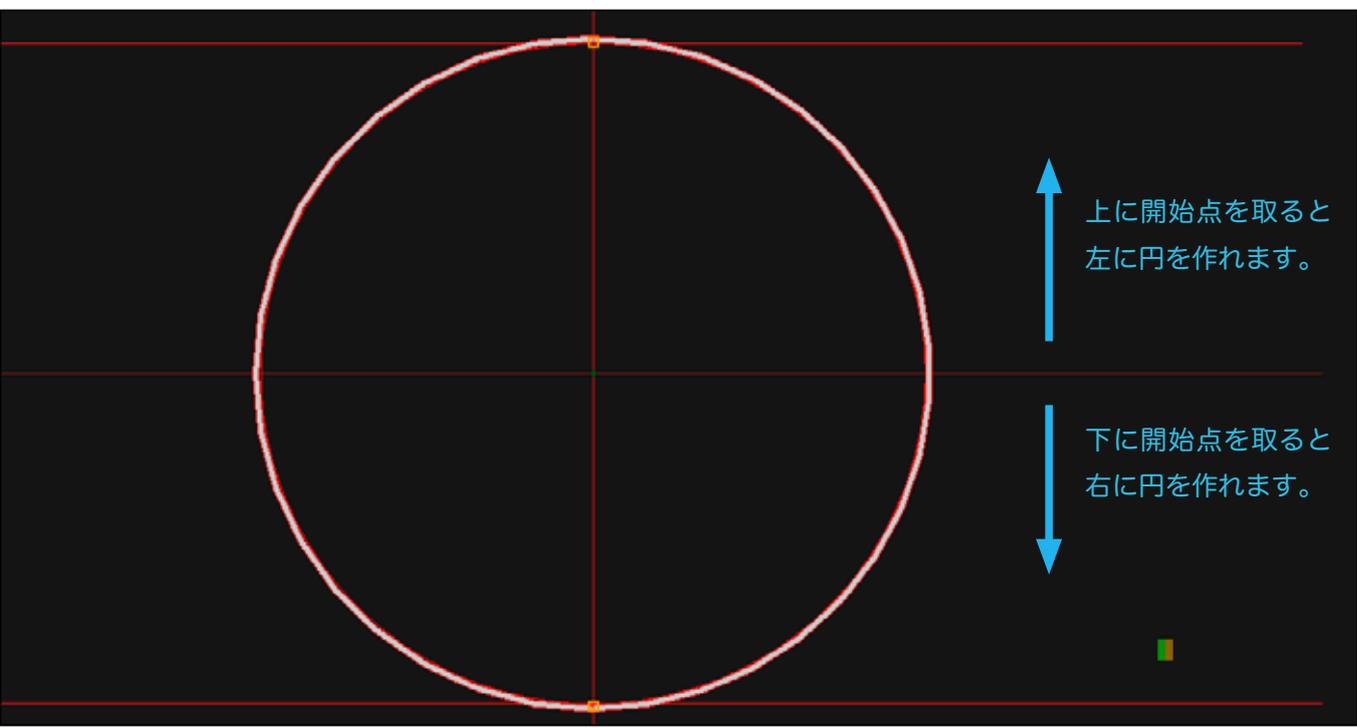




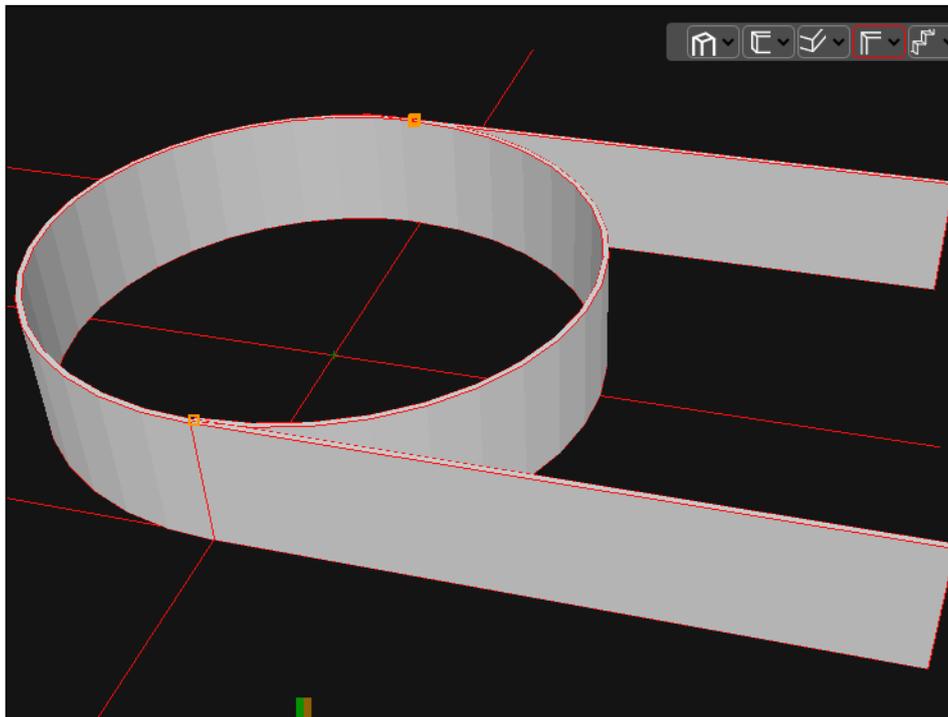
17) 中心でクリック、2 度目開でクリック、マウスを右に動かして、目的の箇所をクリックし Enter を押します。



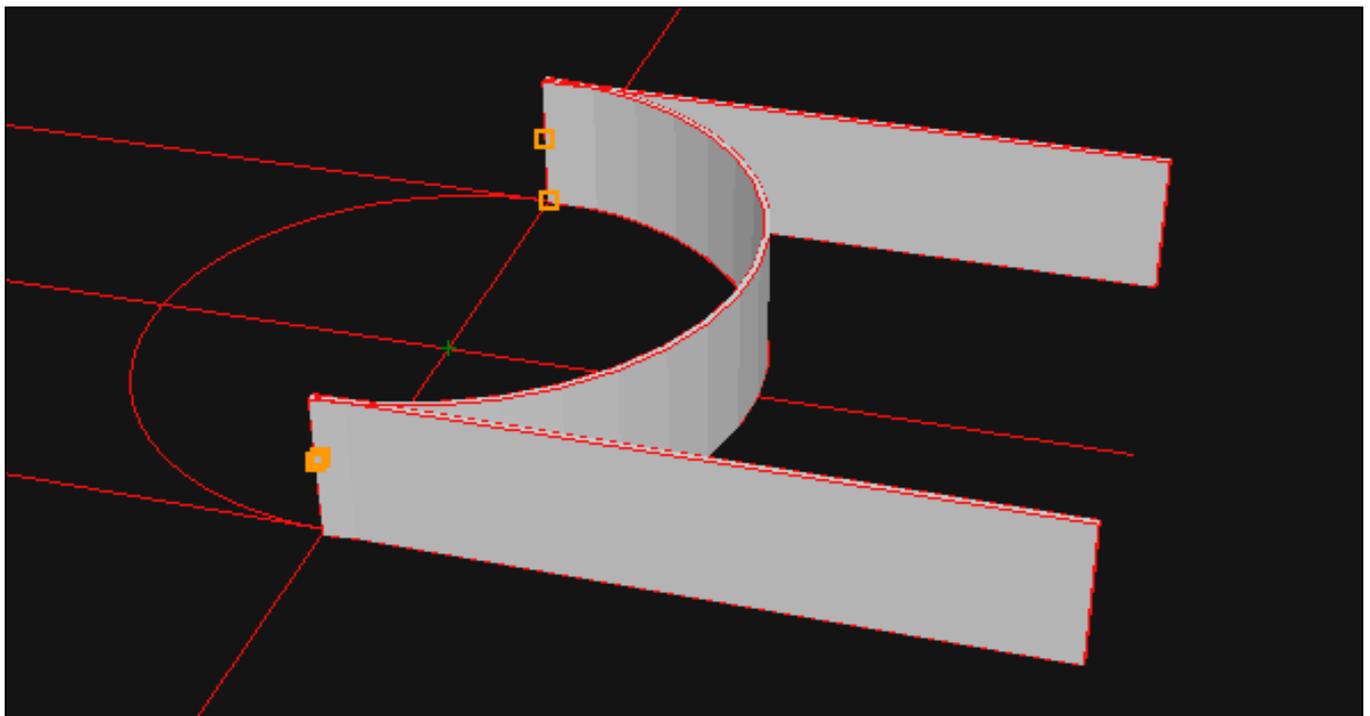
18) 左と右の2つ半円を別々に作成しました。



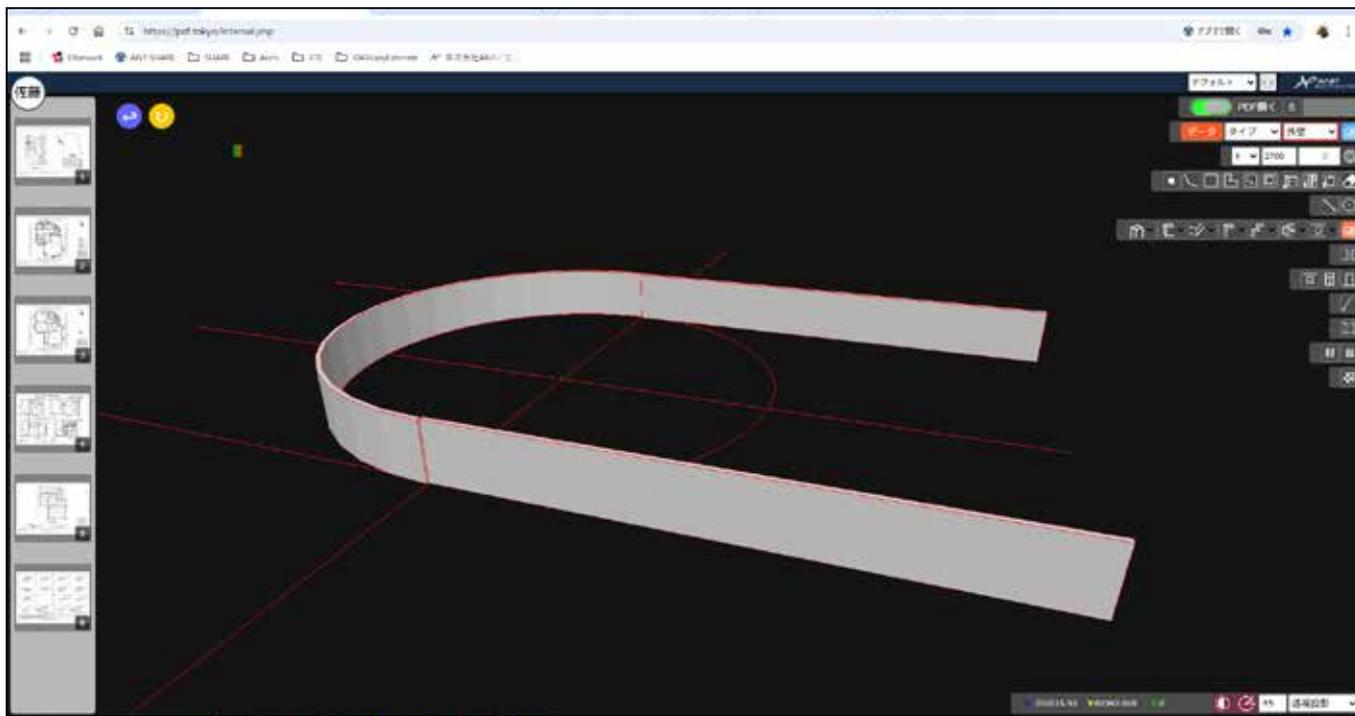
19) 透視投影にし、仕上げ面にチェックを入れます。



20) 左側の半円を消すと下図のような R 壁としても適用できます。

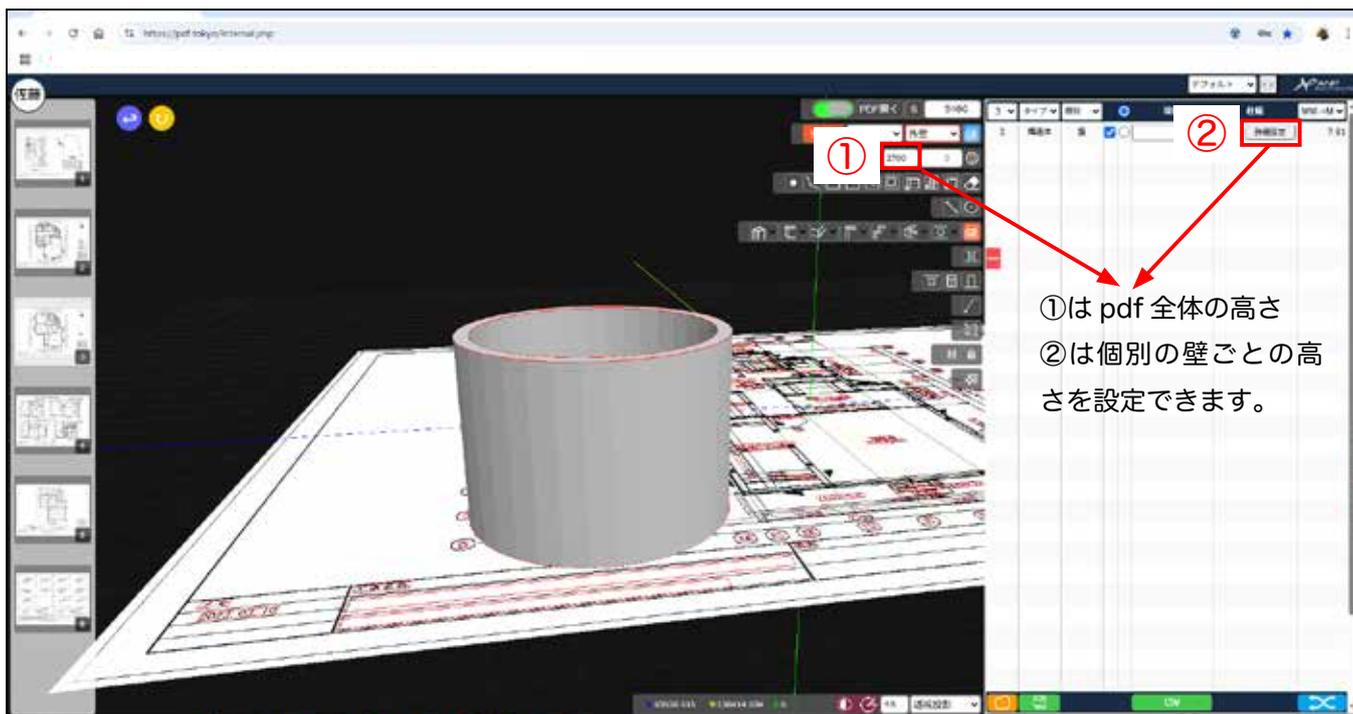


21) 右側の半円を消すと下図のような R 壁としても適用できます。

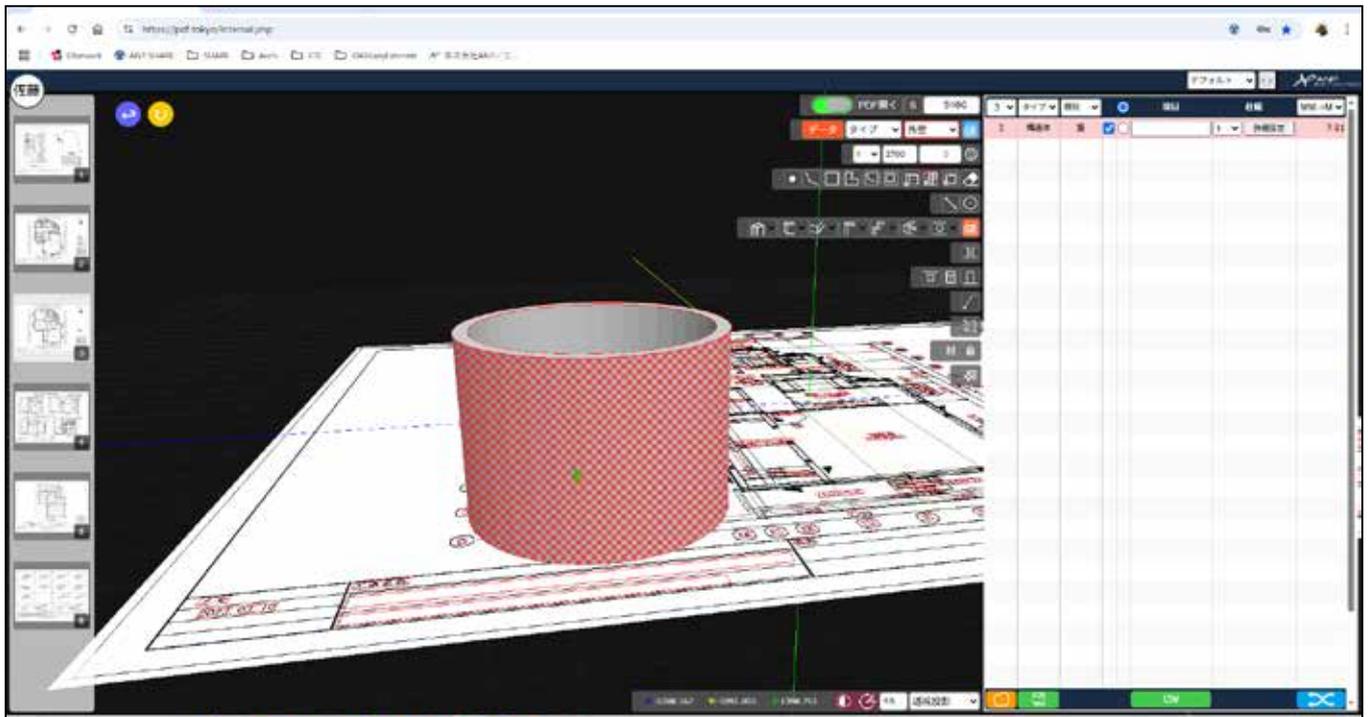


## R 壁の面積・長さの計測

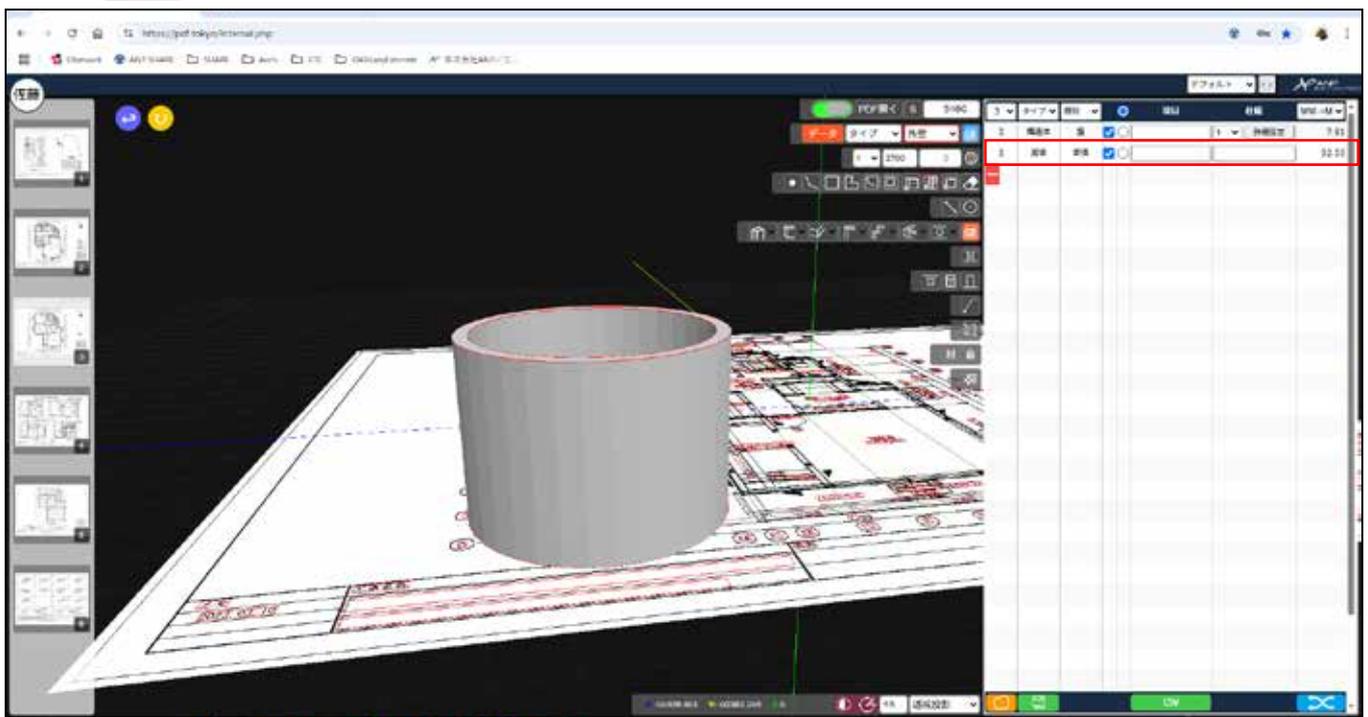
1) 下図の R 壁部分の面積を取ります。 面積選択アイコンをクリックします。



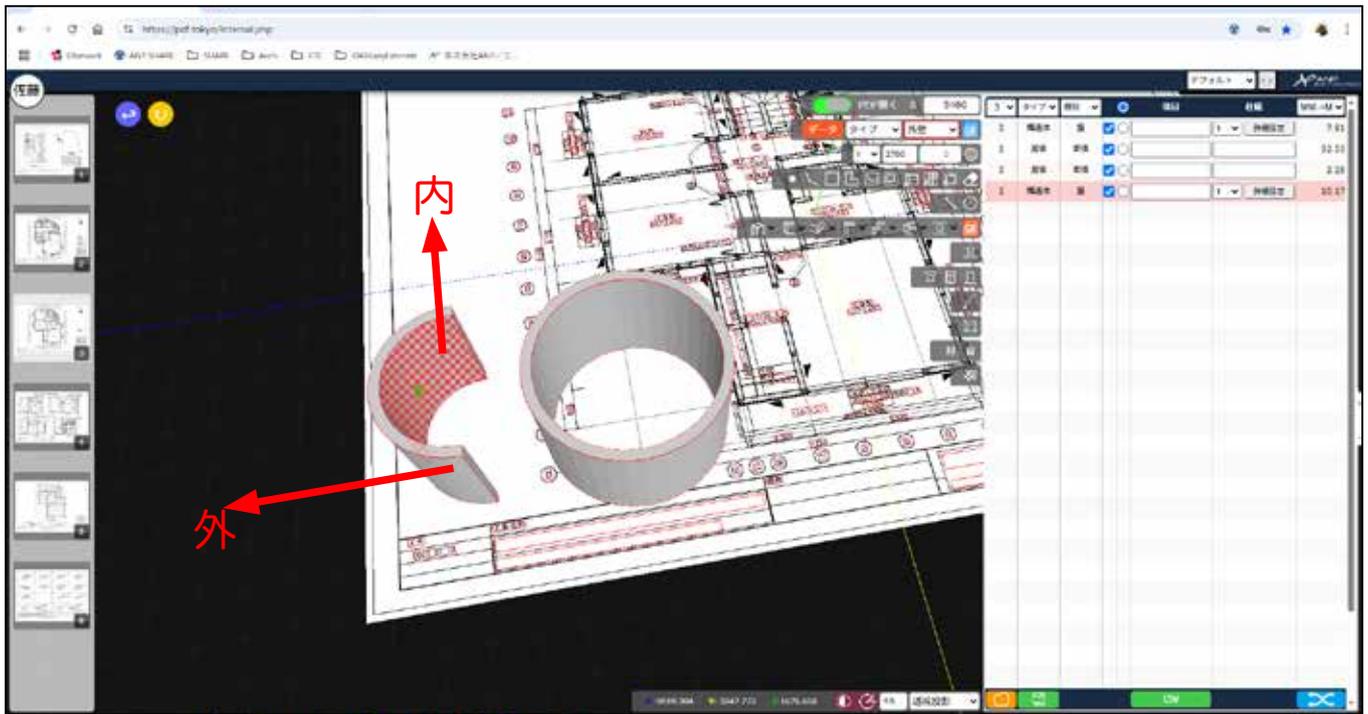
2) 取りたい面積の箇所を左の図面の方でクリックします。色がつきます。



3)  Enter を押すと、右の表に表示されます。



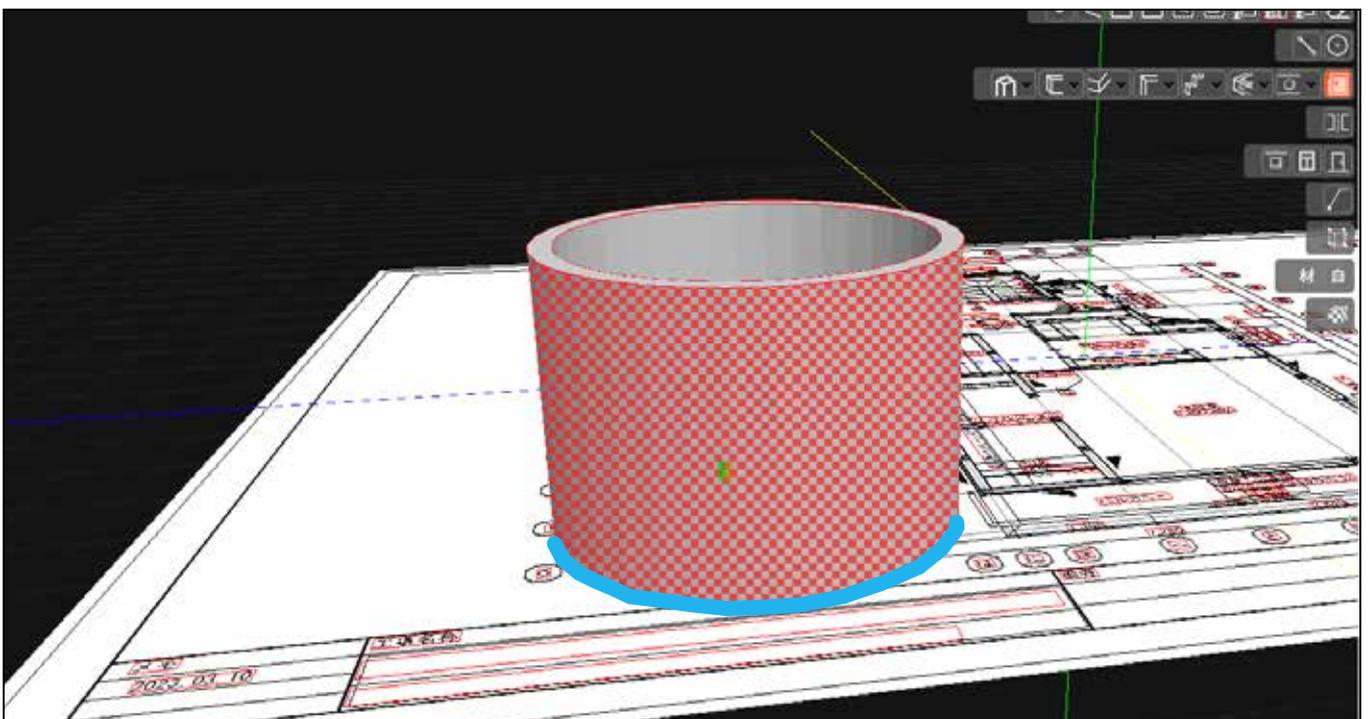
4) 内と外で面積が異なりますので、別々に取ってください。



5) 長さは、長さ選択のアイコンをクリックします。Enterを押します。青い線の長さが右の表に出ます。

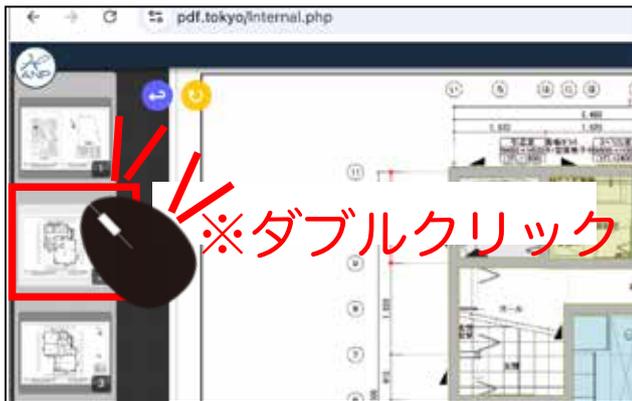


長さを取りたい壁を選択し



# 画面操作方法

画面左部分から目的のページをダブルクリックします。図面が表示されます。



## 【拡大・縮小】

図面上で、マウスホイールを上下に操作します。



画面全体で拡大・縮小はしないでください。

## 【図面位置移動】

マウスホイールを押したまま動かして移動します。



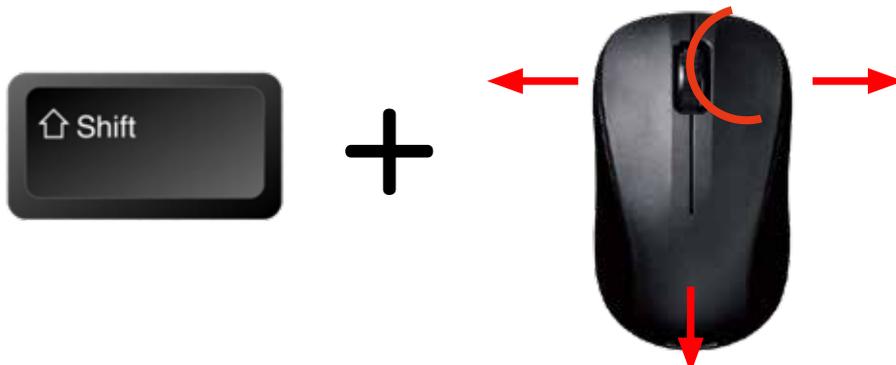
## 【3D時 360° 操作】

マウスホイールを押したまま動かします。



## 【3D時 上下左右移動】

Shift + マウスホイールを押したまま上下左右に動かします。



※マウスホイールがないマウス  
図面の位置移動はキー  
で操作できます。



# 画面上のアイコン

